

福祉サービス第三者評価結果報告書【令和4年度】

2023年 3月 23日

東京都福祉サービス評価推進機構
公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒 176-0001

所在地 東京都練馬区練馬1-20-2

評価機関名 株式会社日本生活介護

認証評価機関番号

機構 02 - 015

電話番号 03-3991-8440

代表者氏名 佐藤 義夫

印

以下のとおり評価を行いましたので報告します。

| 評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号 | 評価者氏名 | | 担当分野 | 修了者番号 |
|--|---|--------------|------|----------|
| | ① | 山本 吉士郎 | 経営 | H1201029 |
| | ② | 野田 友子 | 福祉 | H0202088 |
| | ③ | 齋藤 貴明 | 福祉 | H1102028 |
| | ④ | 志村 健 | 福祉 | H2001068 |
| | ⑤ | | | |
| | ⑥ | | | |
| 福祉サービス種別 | 認可保育所 | | | |
| 評価対象事業所名称 | しばうら保育園 | | | |
| 事業所連絡先 | 〒 | 108-0023 | | |
| | 所在地 | 港区芝浦3-1-16 | | |
| | TEL | 03-5232-1130 | | |
| 事業所代表者氏名 | 園長 倉田 雅子 | | | |
| 契約日 | 2022年 8月 3日 | | | |
| 利用者調査票配付日(実施日) | 2022年 9月 29日 | | | |
| 利用者調査結果報告日 | 2022年 12月 12日 | | | |
| 自己評価の調査票配付日 | 2022年 8月 29日 | | | |
| 自己評価結果報告日 | 2022年 12月 12日 | | | |
| 訪問調査日 | 2022年 12月 20日 | | | |
| 評価合議日 | 2022年 12月 20日 | | | |
| コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入) | 利用者(保護者対象)調査は、アンケート用紙と第三者評価の目的や主旨、問い合わせ先等を説明した文書をつけて、事業所から手渡して配布をした。記入後は返信用封筒に入れ、評価機関へ郵送してもらった。 | | | |

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。
本報告書の内容のうち、

- 機構が定める部分を公表することに同意します。
- 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
- 別添の理由書により、公表には同意しません。

2023年 3月 23日

事業者代表者氏名

倉田 雅子

印

| | |
|---|--|
| 1 | <p>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>本園・分園共有</p> <ul style="list-style-type: none"> ●保育理念 『あったかい心』をもつ子どもに育てる ●基本方針 『思いやり』の気持ちを大切にします。 『生きる力』を大切にします。 『主体性』を大切にします。 『好奇心』が伸びる環境を大切にします。 『経験』『体験』を大切にします。 一人ひとりの『得意』を大切にします。 『ことば』の美しさ、楽しさを大切にします。 『地域との関わり』を大切にします。 |
| 2 | <p>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</p> <p>(1)職員に求めている人材像や役割</p> <p>本園・分園共有</p> <p>《職員に求めている人材像》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『プロ』としての仕事ができる職員 ・『社会人』として良識のある職員 ・前向きに挑戦し続ける職員 ・『組織人』として自覚をもった職員 ・『自己管理』のできる職員 ・全ての人に『気持ちよさ』を届けられる職員 ・リスクを正しく理解し安全を追及できる職員 ・相手の立場を尊重し理解した上で言動ができ、感情的にならず冷静な対応ができる職員 <p>《職員に求めている役割》</p> <p>養護と教育のバランス良い保育をし「人として生きる力の基礎」の礎とする。</p> <p>(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)</p> <p>本園・分園共有</p> <p>子どもの状況や実態の把握と主体性の尊重、健康安全な環境での自己発揮・発達過程に応じた保育を行い、健やかな成長を保障するように努め、子どもの権利を重んじた児童福祉法、児童憲章に則り、子どもにとって望ましい環境を整えていく使命を心にとめてほしい。</p> |

調査対象

全園児世帯の保護者を対象とした。
複数の在園児がいる場合は、最年少の子どもに対しての回答をお願いした。

調査方法

園から調査票を配布してもらい、記入後は返信用封筒に入れ、評価機関へ直接返送してもらった。

利用者総数
利用者家族総数(世帯)
共通評価項目による調査対象者数
共通評価項目による調査の有効回答者数
利用者家族総数に対する回答者割合(%)

| |
|------|
| 238 |
| 206 |
| 206 |
| 127 |
| 61.7 |

利用者調査全体のコメント

調査対象者本園206世帯のうち、本園100世帯、分園33世帯中27世帯から回答を得ることができた。満足度の高い項目として、「保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っていますか」「提供される食事は、子どもの状況に配慮されていますか」「職員の態度・接遇は適切ですか」「保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっていますか」「病気やけがをした際の職員の対応は信頼できますか」などがあげられる。
総合的な満足度は、123名が「大変満足、満足」と回答し、2名が「不満」、2名が「無回答」と回答している。
また、「ゆびあみなど遊びを習得したり、いろいろな経験をさせてくれます」「いつも親切・丁寧で、柔軟に対応してもらっています」「アットホームで安心感のある園だと思います」「積極的に声をかけてくれて、園全体でも守っていることを実感しています」「安全対策が徹底されています」「先生方も優しく、子どもが楽しく通園しています」「戸外活動を増やしてほしいです」「アプリや保育参観などで、もう少し個々人の園での様子がわかると嬉しいです」などのコメントがあがっている。

利用者調査結果

| 共通評価項目 | 実数 | | | |
|--|-----|---------------|-----|------------|
| | はい | どちらとも いえない | いいえ | 無回答 非該当 |
| 1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか | 125 | 2 | 0 | 0 |
| 125名が「はい」、2名が「どちらともいえない」と回答している。 「運動や工作など工夫してくれています」「園庭などで走り回ったり、感覚遊びや英語プログラムなど心身の発達に役立っています」「友達との関わりや先生との対話が成長につながっています」「食育や工夫した制作をしています」「発語が増えました」などのコメントがあがっている。 | | | | |
| 2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか | 120 | 5 | 2 | 0 |
| 120名が「はい」、5名が「どちらともいえない」、2名が「いいえ」と回答している。 「食育や季節のイベントにも楽しく取り組んでいます」「子どもが楽しそうに保育園でやったことを話してくれます」「工作や多彩な活動を毎回楽しんでいるようです」「コロナ禍のため、課外活動が減っています」などのコメントがあがっている。 | | | | |
| 3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか | 122 | 3 | 1 | 1 |
| 122名が「はい」、3名が「どちらともいえない」、1名が「いいえ」と回答している。 「メニューや栄養も考えられていて、いつも残さず食べているようです」「食事が展示されており、食べた物がわかるので安心できます」「バランスの取れた食事が提供されています」「子どもの調子によって柔らかめの食事を出してくれます」「離乳食に移行する際、一人ひとりに合わせた食事の様子を報告してくれます」「食べ方指導もしてくれます」などのコメントがあがっている。 | | | | |

| | | | | |
|--|-----|----|----|----|
| 4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか | 84 | 29 | 13 | 1 |
| 84名が「はい」、29名が「どちらともいえない」、13名が「いいえ」と回答している。 「季節の木々や花に関心を持っています」「戸外活動が少なく、自然と触れ合う機会は少ないです」「コロナ禍のため仕方ないが、園庭や戸外で遊ぶ機会を増やしてほしいです」などのコメントがあがっている。 | | | | |
| 5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか | 86 | 18 | 3 | 20 |
| 86名が「はい」、18名が「どちらともいえない」、3名が「いいえ」と回答している。 「ルールの中で柔軟に対応してくれます」「とても助かっています」「利用したことがないのでわかりません」「延長保育の申請は、事前申し込みが必要なので不便なこともあります」などのコメントがあがっている。 | | | | |
| 6. 安全対策が十分取られていると思うか | 119 | 8 | 0 | 0 |
| 119名が「はい」、8名が「どちらともいえない」と回答している。 「先生方が積極的に声かけをしてくれます」「常に気を配ってくれています」「正門が開放されている時間帯に部外者が入ってしまうのでは、と不安に思うこともあります」などのコメントがあがっている。 | | | | |
| 7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か | 107 | 14 | 3 | 3 |
| 107名が「はい」、14名が「どちらともいえない」、3名が「いいえ」と回答している。 「前もって日程の案内があるので調整しやすいです」「1年間の予定が4月にわかり、把握しやすいです」「行事は土日にあるので参加しやすいです」「コロナ禍で行事も少なくなわかりません」「案内の方法を統一してもらえると把握しやすいです」などのコメントがあがっている。 | | | | |
| 8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか | 113 | 8 | 3 | 3 |
| 113名が「はい」、8名が「どちらともいえない」、3名が「いいえ」と回答している。 「悩んでいる様子を見ると、面談の機会を園から提案してくれます」「面談をしてもらい園の様子がわかったので、家での過ごし方も工夫することができました」「話しやすく相談しやすいです」などのコメントがあがっている。 | | | | |
| 9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか | 117 | 7 | 0 | 3 |
| 117名が「はい」、7名が「どちらともいえない」と回答している。 「日頃から防災面も含めて、意識高く管理されていると思います」「いつもきれいです」などのコメントがあがっている。 | | | | |
| 10. 職員の接遇・態度は適切か | 122 | 1 | 2 | 2 |
| 122名が「はい」、1名が「どちらともいえない」、2名が「いいえ」と回答している。 「職員は活気があり親切です」「挨拶をしっかりしてくれます」などのコメントがあがっている。 | | | | |

| | | | | |
|--|-----|----|----|----|
| 11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか | 120 | 2 | 3 | 2 |
| 120名が「はい」、2名が「どちらともいえない」、3名が「いいえ」と回答している。 「けがをした際、丁寧に対応してくれました」「就労に対して気遣いながら、子どもを第一に考え対応してくれます」「状態を詳しく教えてくれるが、様子見か迎えに行った方がよいのかはっきり言ってもらえると助かります」などのコメントがあがっている。 | | | | |
| 12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか | 84 | 18 | 2 | 23 |
| 84名が「はい」、18名が「どちらともいえない」、2名が「いいえ」と回答している。 「必ず説明してくれます」「子どもと先生の間で解決し、丁寧に報告してくれます」「まだそのような機会がありません」などのコメントがあがっている。 | | | | |
| 13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか | 118 | 5 | 1 | 3 |
| 118名が「はい」、5名が「どちらともいえない」、1名が「いいえ」と回答している。 「トイレも子どものペースに合わせてくれます」「運動会の練習を嫌がる子どもに寄り添い、無理強いせず、上手に付き合ってくれました」「子どもの意思を尊重してくれていると思います」などのコメントがあがっている。 | | | | |
| 14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか | 111 | 3 | 2 | 11 |
| 111名が「はい」、3名が「どちらともいえない」、2名が「いいえ」と回答している。 「そのような機会がありません」「アレルギーの話をする際は個室で話を聞いてくれます」などのコメントがあがっている。 | | | | |
| 15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか | 112 | 11 | 2 | 2 |
| 112名が「はい」、11名が「どちらともいえない」、2名が「いいえ」と回答している。 「連絡帳に丁寧に書いてくれます」「保育参観や掲示物などで、子どもの様子を知りたいです」「当日の保育内容は掲示されますが、お迎えの際は時間がなく、話を聞けないこともあります」などのコメントがあがっている。 | | | | |
| 16. 利用者の不満や要望は対応されているか | 102 | 13 | 1 | 11 |
| 102名が「はい」、13名が「どちらともいえない」、1名が「いいえ」と回答している。 「連絡帳と口頭で、経過を教えてください」「不満はありません」「子どもが進級する時、クラスに慣れるように寄り添ってくれました」「意見をされた際、すぐには状況は変わりませんでした」などのコメントがあがっている。 | | | | |
| 17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか | 50 | 30 | 12 | 35 |
| 50名が「はい」、30名が「どちらともいえない」、12名が「いいえ」と回答している。 「案内が配布されました」「聞いたことがありません」などのコメントがあがっている。 | | | | |

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7)

| No. | 共通評価項目 | | |
|---|--|---|--------|
| 1 | カテゴリ1 | | |
| | リーダーシップと意思決定 | | |
| | サブカテゴリ1(1-1) | | |
| | 事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている | サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 | 7/7 |
| | 評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している | | 評点(〇〇) |
| | 評価 | 標準項目 | |
| | ●あり ○なし | 1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている | ○非該当 |
| | ●あり ○なし | 2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている | ○非該当 |
| | 評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている | | 評点(〇〇) |
| | 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている | ○非該当 | |
| ●あり ○なし | 2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している | ○非該当 | |
| 評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している | | 評点(〇〇〇) | |
| 評価 | 標準項目 | | |
| ●あり ○なし | 1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている | ○非該当 | |
| ●あり ○なし | 2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している | ○非該当 | |
| ●あり ○なし | 3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えていく | ○非該当 | |
| カテゴリ1の講評 | | | |
| <p>理念「あったかい心をもつ子どもに育てる」を掲げて、保育園の運営を行っている</p> <p>港区立しばうら保育園及び分園は港区が設置して指定管理者を定めて運営委託をしている。当園は事業を行う上で、港区及び指定管理者の方針を大切にしながら、理念、基本方針、保育目標を園内に掲示して、訪れる人に表明している。また、年度事業計画にその詳しい内容を記載し、職員には説明している。また、新卒社員、中途入社社員には配属前の法人研修によって周知している。保護者には入園時に配布する「入園のしおり」によって、園の考え方を説明すると同時に、ホームページ、園だより、園内掲示等で説明している。</p> <p>園長は組織の先頭に立って、リーダーとしての役割を発揮している</p> <p>本園園長(以下園長)は、分園園長の協力の下、常に港区及び法人の方針を念頭において、保育を運営するため、職員の先頭に立って役割を発揮している。また、地域の保育動向に関心を持って交流を行っている。また、職員配置や職務分担の決定、保護者支援や年度計画の推進、各プロジェクトの統括を行っている。また、職員の育成に力を入れて、職員との定期的な面談を含めて、随時話し合う機会を設けて個々の希望や特性の把握に努めている。法人は傘下の各園に対して業務の標準化や各園でのさまざまな事例の共有化を図っている。</p> <p>重要な案件について審議し、決定する手順は決められている</p> <p>案件の決定手順は「保育園業務マニュアル」に示されている。通常は、三役会で決定し、リーダー会、職員会議において説明・周知を図っている。案件によっては園長会を通じて法人にあげて決定を仰いでいる。港区からの通知類も園長の判断で、職員や場合によっては保護者にも掲示で知らせている。また、必要に応じて、クラス懇談会や掲示・文書配布によって決定経緯を説明している。</p> | | | |

| | | | | |
|--|---|--|----------------------------|------|
| 2 | | | 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行 | 6/6 |
| サブカテゴリ1(2-1) | | | | |
| 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している | | | サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 | 6/6 |
| 評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している | | | 評点(000000) | |
| 評価 | 標準項目 | | | |
| ●あり ○なし | 1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している | | | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している | | | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している | | | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している | | | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 5. 事業所の経営状況を把握・検討している | | | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している | | | ○非該当 |
| サブカテゴリ2(2-2) | | | | |
| 実践的な計画策定に取り組んでいる | | | サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 | 5/5 |
| 評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している | | | 評点(000) | |
| 評価 | 標準項目 | | | |
| ●あり ○なし | 1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している | | | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している | | | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている | | | ○非該当 |
| 評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる | | | 評点(00) | |
| 評価 | 標準項目 | | | |
| ●あり ○なし | 1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している | | | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる | | | ○非該当 |
| カテゴリ2の講評 | | | | |
| <p>保護者の要望や職員の意向を知るためにアンケートや面談を利用している</p> <p>保護者の要望を知るために行事後のアンケートによって、感想や意見を募っている。また保護者会や必要に応じて個人面談によって意向を把握している。これらから得られた、意見や意向をニーズとして捉えている。職員の意見や考え方は、クラス会議や職員面談によって把握に努め、年度末にはクラスや係ごとにアンケートを収集して、対応すべき課題を抽出している。また地域の福祉状況を把握するために、区園長会や地域会議に参加し情報を収集している。また、地域支援行事や園見学者から地域の子育て家庭の意向を把握している。</p> <p>中期計画をもとに、園の年度ごとの事業計画を作成している</p> <p>港区による「地域保健福祉計画」と法人による事業戦略の主旨を盛り込んで、中期計画を策定し、年度の事業計画を作成している。年度事業計画では、保育基本方針、保育の計画を定めている。また、保育活動を実践する上で、会社として楽習保育によって、『せいかつ・あそび』から『まなび』へ、を提唱している。また、保護者には、入園のしおり(兼重要事項説明書)と全体的な計画につなげて、養護・教育の流れの全体を表す事によって、入園から卒園までに成長する過程のイメージを伝えている。</p> <p>着実な計画の実行に向けて、計画の立案と進捗の管理をしている</p> <p>年間の指導計画は、「全体的な計画」を指針として、各クラスリーダーと主任が中心となり、子どもたちの実態と発達に即した内容を盛り込んだ案を作成している。職員会議で、各職員間で検討して決定している。また、期、月、週単位での進捗管理を行い着実な実行を確認している。更に、行事・避難訓練等の計画は前年の振り返りの結果を踏まえて担当者が実行案を作成して、必要予算や職員の負荷を検討の上決定している。計画類の進捗管理は、職員会議の議題に上げて認識を共有して実施につなげている。</p> | | | | |

| 3 カテゴリー3 | | |
|--|--|-----------------------|
| 経営における社会的責任 | | |
| サブカテゴリー1(3-1) | | |
| 社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる | | サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 2/2 |
| 評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる | | 評点(〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるように取り組んでいる | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。 | ○非該当 |
| サブカテゴリー2(3-2) | | |
| 利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている | | サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4/4 |
| 評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている | | 評点(〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある | ○非該当 |
| 評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている | | 評点(〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている | ○非該当 |
| サブカテゴリー3(3-3) | | |
| 地域の福祉に役立つ取り組みを行っている | | サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5 |
| 評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる | | 評点(〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している | ○非該当 |
| 評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている | | 評点(〇〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる | ○非該当 |

カテゴリー3の講評

保育に従事するための基本的な姿勢・心得・守秘義務の遵守を学習している

職員は、保育に従事するにあたって、入社前研修において、姿勢、心得、守秘義務の遵守を学習して、配属に備えている。職員には、業務を行う上での基本事項が掲載されているマニュアル(子どもや保護者への接し方及び社会人としてのマナーも含めてその取り組み姿勢について記述されている)を配布して、いつでも確認できるようにしている。また、職員会議において、定期的に話し合い理解を深めている。また、法人で開催される園長会において、内外のさまざまな事例の発表結果を園内に持ち帰り、会議で職員全員に周知して、共有化を図っている。

保護者からの意見、要望、苦情等に、相談窓口を明示して、解決への手順を定めている

受けた場合は、真摯に受け止めて、対応している。また、園内にご意見箱を各階、分園に設けて匿名でも受け付けている。受け付けた場合は「意見、苦情対応ファイル」にまとめて、定められた手順によって解決を図っている。各支援家庭には家庭訪問等の対応(分園)を行っている。「マニュアル」には、苦情に対応する時の注意事項を詳しく記述され、園内外への情報伝達によって、組織的な対応が図れるように手順を定めている。

子どもたちの権利を擁護して、組織として不適切な対応の防止に取り組んでいる

子どもの人格、人権を尊重し、言動には十分注意するよう日頃から徹底している。各クラス会議では職員の言動や、アンケートによって振り返りを行い、不適切な対応の防止を図っている。同時に、互いに良い点を認め合うことによる連帯化を生み出している。また、登園時の視診、着替え時チェックや顔色や普段の態度の観察等によって、家庭での虐待が疑われるような場合には、「マニュアル」による対応手順に従って、港区担当部門を含めて関係機関との情報共有、連携する体制が整えられている。

| 4 カテゴリー4 | | |
|--|--|-----------------------|
| リスクマネジメント | | |
| サブカテゴリー1(4-1) | | |
| リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる | | サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5 |
| 評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる | | 評点(〇〇〇〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる | ○非該当 |
| サブカテゴリー2(4-2) | | |
| 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている | | サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4/4 |
| 評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている | | 評点(〇〇〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・管理している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している | ○非該当 |
| カテゴリー4の講評 | | |
| <p>園内の「安全委員会」を中心に、災害等の対応訓練と啓発を行っている</p> <p>火災や地震などの災害時にも、子ども達を安全誘導、避難させることができるように年間計画によって避難訓練や消防訓練を行っている。これらを組織的に行うために園では、園長、管理層及び保育士、専門職をメンバーとする「安全委員会」を設置して、年度ごとの訓練計画や啓発を行っている。また、職員全員に「幼児安全法」の講習受講と、「救命救急法」の受講を推進している。さらに、災害時・緊急時の情報伝達手段として、『安心伝言板』を導入して、園からの情報を掲示板方式による発信と、港区からの専用メール配信をしている。</p> <p>避難訓練や引き渡し訓練は年度計画によって実施して、災害に備えている</p> <p>大規模災害に直面した場合に備えて、港区による「児童施設災害時行動マニュアル(個別施設編)」の内容について職員会議で話し合っている。マニュアルには、地震災害と風水害でのシナリオを用意している。避難誘導、情報発信、子どもを安心させる、保護者への引き渡し等々から施設の再開までの手順を説明している。また、事業の再開に向けた要件を満たすため、区の担当部門と協議をする体制ができている。当園は港区立保育園として、正常な業務に戻す役割を担っているため、港区の事業継続計画(BCP)に準拠することを想定している。</p> <p>個人情報の取扱いについて、港区の条例に則った規程類に従って運用している</p> <p>園内で使用するさまざまな個人情報は、その取扱いについて港区が定める「個人情報保護条例」に則った規定類によって運用している。職員には業務上知りえた個人情報に対して、守秘義務を課すと同時に、定期的な研修受講によって意識を高めている。また、写真の使用や、保護者による園内での写真撮影について条件を定めている。情報の保管方法や廃棄方法、電子データ類の利用方法、アクセス権等は決められた基準によって運用されて不要な漏洩を防いでいる。また、非常勤職員や、実習生、ボランティアからが誓約書を求めている。</p> | | |

| 5 職員と組織の能力向上 | | |
|--|--|------------------------|
| サブカテゴリ-1(5-1) | | |
| 事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる | | サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 12/12 |
| 評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている <p style="text-align: right;">評点(〇〇)</p> | | |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる | ○非該当 |
| 評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している <p style="text-align: right;">評点(〇〇)</p> | | |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している | ○非該当 |
| 評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇〇)</p> | | |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている | ○非該当 |
| 評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇〇)</p> | | |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金・昇進・昇格等)・称賛などを連動させている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている | ○非該当 |
| サブカテゴリ-2(5-2) | | |
| 組織力の向上に取り組んでいる | | サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 3/3 |
| 評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇)</p> | | |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる | ○非該当 |

カテゴリー5の講評

採用は法人が行い、HPにリンクする求人サイトを使って、特徴を応募者に説明している

職員の採用は法人が行い、ホームページ(HP)にリンクする求人サイトを使って幅広く募集を行っている。また、当社の年代の近い先輩の体験談等を掲載して職場の様子を伝えている。また、キャリア形成のための研修プログラムについて説明し応募者に期待感を与えている。保育士就職イベントにも積極的に参加して、事業の説明を行っている。週末面接会やWeb面談によって応募者の利便を図り、見学会、体験会によって就業後のミスマッチを防いでいる。採用試験は、筆記、小論文、面接、実技によって、公正な選抜を行っている。

人材育成につながるよう、入社時から計画的な研修プログラムを用意している

法人は人事考課制度を導入して、職員の評価、報酬、育成を行っている。職務内容に応じた役割、責任を明確にして、職員にそれぞれの立場によって目指すべき方向を示している。また、長期的な展望によって、園及び自己を高めることを目指している。面談によって職員それぞれの資質、目標のすり合わせによって、研修プログラムを用意している。新卒研修から始まり、育成研修へ進み、楽習保育原理研修までを、5年目を目標としている。更に、5年目以降は、エキスパート研修に導くことによって全社的な人材育成につなげている。

職員にとって働きやすい職場作りを目指した取り組みを行っている

当園は大規模園として運営しているため、個々の職員の勤務体制(シフト表作り)にきめ細かく配慮している。出勤管理簿や休暇の取得状況を月次管理をしている。また、毎月1回、産業医と共に安全衛生委員会を行い、問題点の発見に努めている。ストレスチェックは全職員を対象にしている。職員の意欲や働きがいを引き出すために、適切な声かけや職員同士が互いに認め合い、忌憚のない意見交換に導いている。また、良好な人間関係構築に向けて職員間で「良い点アンケート」を実施して、互いを理解し合っている。

カテゴリー7

7 事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリー1(7-1)

事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目1

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

【課題・目標】「各係の改善と効率化」を行う。

【理由・背景】園内に於ける各係の役割と現在取り組むべき案件を抽出する。

【取り組み】以下をその改善に向けて実施した。

①職員の係分担の倉庫係の主導で収納方法を変更した上で、収納物品の写真撮影を行い、年度末までにファイリングを行った。

②新型コロナウイルス感染症対策係を新たに設け、飛沫防止パネルは当初ダンボール箱で幼児分を作成したが、破損のたびに修理をしていたため幼児分は飛沫防止パネルに変更した。

③職員会議の分割化を行い、保育士の経験年数や役職ごとにチームを作り職員会議を実施した。

【取り組みの結果】取り組みの結果、以下が実現できた。

①物品ファイルの作成によって、運動会や発表会で使用する物品の確認・搬出が容易になり、職員の負担軽減につながった。

②幼児用には、ダンボールからパネルに変更したため、消毒を初め管理が容易になった上、子ども同士のトラブルも減ることとなった。

③職員会議の分割化を行い、職員の経験年数や役職ごとにチームを作り順次職員会議を実施した、結果、会議の運営が効率的に運べるようになった。

目標の設定と
取り組み

- 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った
- 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった
- 具体的な目標が設定されていなかった

取り組みの検証

- 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った
- 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む)
- 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

検証結果の反映

- 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた
- 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない
- 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

【講評】

物品の保管方法の見える化によって、搬出が容易になり、その上他園への貸し出しが容易になった。パネルに変更したことによって、子ども同士のトラブルが減り、落ち着いた活動を維持できるようになった。また、会議方法の変更によって、同じレベルでの会話が可能になった。研修後の報告会も水準を合わせる事ができた。

【評語に関して】

今回の取り組みでは、当初予定した目標を達成することができた。①③については今年度継続して取り組むようにした。

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

【課題・目標】
「保育マニュアルの改訂への取り組み」を行った。
【理由・背景】
保育サービスを行う上での求められるサービスの手順は年々細分化しているため。
【取り組み】
①緊急一時保育の流れと内容のマニュアル改訂、②休日保育の流れと内容のマニュアル改訂、③土曜日保育の流れと内容マニュアル改訂、④平日シフトの流れと内容マニュアル改訂(早番・遅番・その他)、⑤保育運営の手引き(法人と連携)
【取り組みの結果】
主任・副園長・園長で確認をし合いながら、新人職員や移動配属の職員が確認しやすいように各業務の流れと内容の改訂ができた。保育運営の手引きの改訂は、法人本部案件であるため各園長が確認し、本社が実務、コンプライアンス、心得の手引きの改訂を完了している。
【今後の方向性】
保育運営の手引きの改訂に関しては、目次や見出しにマークが入りやすくなっており、内容に関しても新しい情報に変更され文面も読みやすくなっている。今後は積極的に手引きを参考にして保育に活かすことができるようにしていくことが大切と考える。

| | |
|------------------------|---|
| <p>目標の設定と 取り組み</p> | <p><input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った</p> <p><input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった</p> <p><input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった</p> |
| <p>取り組みの検証</p> | <p><input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った</p> <p><input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む)</p> <p><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</p> |
| <p>検証結果の反映</p> | <p><input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた</p> <p><input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない</p> <p><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</p> |

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

【講評】
園が行っている業務に関してのマニュアルまたは手順書の作成、または改訂を継続的に行うことは大切な事である。また、年々増える業務に対して手順の標準化が要求されている。(例として、園外行事での点呼方法や消毒を含む清掃作業等)
【評語に関して】
これらの取り組みによってPDCAの流れが実行できたものと考えられる。

Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1～3、6-5～6)

| No. | 共通評価項目 | |
|--|-----------|---|
| サブカテゴリ1 | | |
| 1 | サービス情報の提供 | サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 4/4 |
| 評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇〇)</p> | | |
| | 評価 | 標準項目 |
| | ●あり ○なし | 1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している |
| | ○非該当 | |
| | ●あり ○なし | 2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている |
| | ○非該当 | |
| | ●あり ○なし | 3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している |
| | ○非該当 | |
| | ●あり ○なし | 4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している |
| | ○非該当 | |
| サブカテゴリ1の講評 | | |
| <p>ホームページで情報発信し、電話での問い合わせにも丁寧に対応している</p> <p>園の情報は、法人本部のホームページや、区で作成したホームページから入手できる。園からは、毎月発行している「園だより」も提供している。区のホームページでは、園の概要、保育時間、22時までの延長保育、休日保育、年末保育などの実施内容を載せている。利用希望者などから、電話での問い合わせもあり、丁寧に対応している。また、玄関には区内の他機関のパンフレットなどを設置し、情報提供をすることにも取り組んでいる。</p> <p>園内の間取り図の提示や、ドキュメンテーションで保育内容を伝えている</p> <p>園のしおり、法人のホームページ、リーフレットには、1階から4階までの間取り図やバギー置き場を示している。予防接種の概要は英語でも表記し、要望があれば英語でも対応できるようにしている。また、各クラスでは、園の様子を知りたいという要望に応え、一日の様子を写真入りのドキュメンテーションで掲示し、来訪者に保育内容を分かってもらう工夫をしている。法人の基本方針の理解につながるよう「楽習プログラム」の提示もしている。また、「ねらい」を記入した「一日の活動の様子」を提示している。</p> <p>丁寧な見学者対応を心がけ、園の取り組みを分かりやすく伝えている</p> <p>見学希望は電話で受け付けており、園長や副園長が滞在する日に設定している。見学受け入れ数は、一日4家庭で、1家庭2名までとしている。11月ごろが一番見学者が多いが、案内は園長か副園長が行なっている。案内時の説明のポイントとして、乳児では、月齢に応じて手先の発達を促す活動を取り入れていることや、幼児では、日々の活動内容や行事について説明している。見学に来た保護者からは、遊戯室の広さや4階の園庭空間の広さについて高い評価が得られている。</p> | | |

| サブカテゴリ-2 | | サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 | 6/6 |
|--|--|----------------------|-----|
| 2 | サービスの開始・終了時の対応 | | |
| 評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている | | 評点(〇〇) | |
| 評価 | 標準項目 | | |
| ●あり ○なし | 1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している | ○非該当 | |
| ●あり ○なし | 2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている | ○非該当 | |
| ●あり ○なし | 3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している | ○非該当 | |
| 評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている | | 評点(〇〇) | |
| 評価 | 標準項目 | | |
| ●あり ○なし | 1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している | ○非該当 | |
| ●あり ○なし | 2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している | ○非該当 | |
| ●あり ○なし | 3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている | ○非該当 | |
| サブカテゴリ-2の講評 | | | |
| <p>入園説明会や入園面談で、書式を基に丁寧な説明・聞き取りを行なっている</p> <p>4月入園の家庭は、3月に区から郵送された児童票や、園医の健康診断結果を持参してもらい、入園説明会を園長が行なっている。更に、同意書や「勤務状況届及び園児引き取り者名簿」、「入園のしおり」等も渡し、保育士による入園面談も実施している。入園説明会で園長は、「入園のしおり」を一通り話すと共に、保育理念、保育方針、保育時間、健康管理について詳しく説明している。また、入園面談では、児童票に基づいて、0歳児用と1・2・3・4・5歳児用作成の「面談チェック表」を使用し、保護者からの要望や意見を聞き取り、記録している。</p> <p>慣れ保育を通して新入園児に、環境の変化への影響を軽減させている</p> <p>入園面談時に、アレルギー食などは栄養士が確認し、母乳育児を希望する家庭は園長と看護師が面談している。既往歴に関しては看護師が対応している。新入園児に係る職員間の情報共有は、児童票ファイルに綴じた内容をクラス担任が昼礼で報告し、周知徹底を図るよう努めている。入園当初、特に乳児クラスの園児は、スケジュール表を立て保護者の勤務可能な中で慣れ保育を行っている。看護師やフリー職員がフォローに入り、新入園児に環境の変化による影響を軽減させている。保護者には連絡帳や口頭で、子どもの様子を伝え、安心感を与えている。</p> <p>退園児や卒園児に手厚い対応をし、支援の継続性を大切にしている</p> <p>途中退園する子どもには、1年間の制作品やお絵かき帳、連絡ノートなどを綴じて渡している。各クラスでは、クラス担任が色紙様のものに写真を貼ったり、メッセージを書いている。メッセージカードには、子どもの様子や、他園に行っても大切にしたいことを伝えている。卒園児に関しては、「保育所児童保育要録」を記入し、近くの小学校には手渡しで、遠くの小学校には郵送している。卒園児の保護者の中には「就学支援シート」を活用する方もおり、園側でも子どもの様子を記載し、入学する小学校に伝えている。</p> | | | |

| サブカテゴリ-3 | | サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 | 12/12 |
|--|--|----------------------|-------|
| 3 | 個別状況の記録と計画策定 | | |
| 評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している | | 評点(〇〇〇) | |
| 評価 | 標準項目 | | |
| ●あり ○なし | 1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している | ○非該当 | |
| ●あり ○なし | 2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している | ○非該当 | |
| ●あり ○なし | 3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている | ○非該当 | |
| 評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している | | 評点(〇〇〇〇〇) | |
| 評価 | 標準項目 | | |
| ●あり ○なし | 1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している | ○非該当 | |
| ●あり ○なし | 2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている | ○非該当 | |
| ●あり ○なし | 3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている | ○非該当 | |
| ●あり ○なし | 4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している | ○非該当 | |
| ●あり ○なし | 5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直ししている | ○非該当 | |
| 評価項目3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している | | 評点(〇〇) | |
| 評価 | 標準項目 | | |
| ●あり ○なし | 1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある | ○非該当 | |
| ●あり ○なし | 2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している | ○非該当 | |
| 評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している | | 評点(〇〇) | |
| 評価 | 標準項目 | | |
| ●あり ○なし | 1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している | ○非該当 | |
| ●あり ○なし | 2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している | ○非該当 | |
| サブカテゴリ-3の講評 | | | |
| 子どもの様子や保育者の関わり、成長した姿を児童票に明記している 子どもの心身状況・生活状況は、児童票や面談チェック表、健康チェックカード等に記入している。一人ひとりに作成している児童票は、発達のめやす(発達のめやす・保育者の援助)の欄や保育経過記録があり、入園時家庭環境、その他特別な状況や発達を記載するようになっている。保育者は伸びたところ、気になる状況、保育者の関わりを記入している。乳児クラスは毎月記入し、幼児クラスは4、6、9、12、3月を目安にクラス担任が記入している。園長、副園長が閲覧しており、副園長は子どもの様子だけでなく保育者の関わりも書くよう助言している。 | | | |
| 全体的な計画を基に、年間・月間・週間指導計画を作成している 保育の計画の根幹となる「全体的な計画」は園長が作成している。「入園のしおり」にも掲載し、保護者に伝えるとともに、各クラスにも掲示している。全体的な計画を基に、各クラスでは年間指導計画、月間指導計画、週間指導計画を作成している。また、0歳児～2歳児クラスは個別指導計画を作成し、配慮の必要な子にも個別指導計画を作成している。それぞれの計画は、年齢別のつながり、次月に向けたつながりを意識している。園長、副園長の指導や、法人作成の指導計画に関する手引書も作成されている。計画に関する書式一式は、事務所で保管している。 | | | |
| 保育の計画の見直しや、伝達事項への方法を考慮し、共有化を図っている 計画の見直しとして、年間指導計画は期の終わりごとにクラス担任が行っている。月間指導計画は、月1回のクラス会議、職員会議で定期的に園長、副園長とともに行っている。事務所に保管されている保育の計画一式は自由に閲覧できるが、持ち出しは禁止している。子どもや保護者の状況についての職員間の情報共有として、朝礼や昼礼、職員会議で伝えあい、記録している。延長保育への引き継ぎは、各クラスノートに記載し、逡巡職員に漏れないよう申し送っている。フリー職員やパート職員には、昼礼の事項をコピーし、事務所に掲示し、共有している。 | | | |

| サブカテゴリ-5 | | サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 | 5/5 |
|---|--|----------------------|-----|
| 5 | プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重 | | |
| 評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している | | 評点(〇〇) | |
| 評価 | 標準項目 | | |
| ●あり ○なし | 1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている | ○非該当 | |
| ●あり ○なし | 2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている | ○非該当 | |
| 評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している | | 評点(〇〇〇) | |
| 評価 | 標準項目 | | |
| ●あり ○なし | 1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している | ○非該当 | |
| ●あり ○なし | 2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている | ○非該当 | |
| ●あり ○なし | 3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている | ○非該当 | |
| サブカテゴリ-5の講評 | | | |
| <p>個人情報の保護や、羞恥心への配慮を意識的に行なうように努めている 子どもや保護者への個人情報については「入園のしおり(重要事項説明書)」で、区の個人情報保護条例に基づき適切に管理すると謳っている。写真同意書や病院受診同意書等に、保護者からサインをもらうなど、細やかに対応している。個人情報の保護とともに、子どもの羞恥心への配慮にも努めている。着替えは男女別々にしたり、パーテーションなどで仕切ったりと工夫している。幼児トイレは鍵付きの扉を設置し、個室で排泄できるようにしている。乳児のオムツ交換も見えない場所で行うなど、配慮している。勉強会も行って、職員に周知を図っている。</p> <p>子どもを大切に育むため、声かけや接し方に配慮した保育を目指している 子どもや保護者の意向を聞き取り、家庭生活や子育ての考え方を把握し、できるかぎり思いに寄り添った保育に努めている。個々の子どもを尊重した保育を実践するに当たり、職員は研修や職員会議、クラス打ち合わせ、屋礼等で保育について振り返っている。保育理念である「あったかい心をもつ子どもを育てる」をもとに、職員の子どもへの声かけや接し方において、子ども自身が大切にされている、と思えることを目指している。利用者調査結果では、「子どもの気持ちを大切にしている」という設問に対する「はい」の割合が、とても高くなっている。</p> <p>虐待への認識や行動規範について振り返り、望ましい行動を確認し合っている 職員の虐待へ意識向上に向けて、区や法人の研修が充実している。研修に参加する職員が多数おり、毎月の職員会議で虐待の研修発表を行い、研修内容の共有化を図っている。園内研修もあり、人権に関するアンケートを取り、まとめたものを皆で話し合っている。子どもの主体性を尊重する保育の大切さを確認し合っている。セルフチェックリストを基に、職員の行動規範について伝える機会も設けている。虐待対応マニュアルや人権マニュアルの配布もあり、職員意識を高めるよう働きかけている。また、他園のアクシデント事例も参考にしている。</p> | | | |

| サブカテゴリ-6 | | サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 | 5/5 |
|---|---|----------------------|-----|
| 6 | 事業所業務の標準化 | | |
| 評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている | | 評点(〇〇〇) | |
| 評価 | 標準項目 | | |
| ●あり ○なし | 1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている | ○非該当 | |
| ●あり ○なし | 2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている | ○非該当 | |
| ●あり ○なし | 3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している | ○非該当 | |
| 評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている | | 評点(〇〇) | |
| 評価 | 標準項目 | | |
| ●あり ○なし | 1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている | ○非該当 | |
| ●あり ○なし | 2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている | ○非該当 | |
| サブカテゴリ-6の講評 | | | |
| <p>マニュアル類が豊富で、運営に役立ち、活用しやすい内容として作成されている</p> <p>法人本部作成の「施設運営の手引き」や、区作成の「給食マニュアル」「防災マニュアル」、「事業継続計画」、「危機管理マニュアル」など、多くのマニュアルに沿って運営を進めている。特に「危機管理マニュアル」は活用頻度が高い。マニュアル類は事務所の棚に保管しており、常に閲覧できるようになっている。日々の業務点検では室内チェックリストを活用し、戸外に出る時は散歩チェックリスト等を有効活用している。また、新入職員は「所属前研修」を受講している。同研修では、業種別に分けた「施設運営の手引書」より丁寧な説明がされている。</p> <p>マニュアル改訂箇所について説明して職員に周知している</p> <p>サービスの基本事項が掲載されている「施設運営の手引き」マニュアルを基本的に活用しており、マニュアルに則り、業務を進めている。マニュアルの改訂・変更があった場合には、園長会で周知されている。保育士の業務マニュアルは都度、改訂されている。園長は、改訂されたマニュアルの内容を、職員と共有している。入社時には、職員に手引書を渡している。</p> <p>保護者の意見を真摯に受け止め、速やかに返答することを心がけている</p> <p>保護者からの意見収集として、個人面談時や行事アンケートの実施、意見箱、日頃の会話などから意見を聞き、受け止めている。例えば、「行事の際、我が子が出番の時には写真が撮れる場所を設けて欲しい」や「夏場の水分補給を十分にして欲しい」等の意見があり、個別に対応している。行事アンケートに寄せられた意見は、次回の行事の参考にしている。また、保護者からの意見をもらった際は、速やかに返答を掲示するなど、迅速な対応に努めている。保護者が意見を言いやすい環境づくりに努めている。</p> | | | |

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ6-4)

| | | サブカテゴリ4 | |
|--|--|---------------------------|--|
| サービスの実施項目 | | サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 | |
| | | 35 / 35 | |
| 1 | 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている | 評点(000000) | |
| | 評価 | 標準項目 | |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている | <input type="radio"/> 非該当 | |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけができるよう、環境を工夫している | <input type="radio"/> 非該当 | |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している | <input type="radio"/> 非該当 | |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している | <input type="radio"/> 非該当 | |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている | <input type="radio"/> 非該当 | |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している | <input type="radio"/> 非該当 | |
| 評価項目1の講評 | | | |
| <p>子どもの状況を園全体で確認し、保護者とも連携を取って園での保育に活かしている</p> <p>入園当初は、児童票や入園面談時に確認した子どもの状況を参考にしている。その後は、日々の連絡帳や保護者とのやり取りから家庭での子どもの状況を把握し、保育に活かしている。本園はフロアが分かれており園児数も多いが、園長、副園長、フリー保育士、事務職員等が園全体を回り、子どもの様子や保育の内容について確認している。分園は、3歳児までが利用しており、1フロアで定員も36人であるため、職員の目が行き届いている。特別な配慮が必要な子どもについては、区の巡回指導を受けながら、個別の指導計画を立て、必要な支援を実施している。</p> <p>子ども同士の交流の機会があり、子どもが遊びを選ぶことができるようにしている</p> <p>様々な国籍の子どもがおり、生活を通じて子ども同士交流することができている。国旗のカードに色を塗るなど、多様な国や文化があることについて子ども達に知らせている。宗教食や、食事に関する意向に対応している。早期・延長保育や土日保育の中で、異年齢の交流があり、生活発表会の練習を下の年齢の子どもが見学する機会も設けている。玩具は、年齢に合わせたものを用意しており、子どもが自ら棚から取り出し、片付けるようにしている。テーブルごとに遊びを分け、ブロックやカードゲームなど、子どもが選んで遊ぶことができるようにしている。</p> <p>子ども同士がお互いを思いやることができるように努め、小学校との連携も図っている</p> <p>子ども同士のトラブルが生じた際には、お互いの話を良く聞き、気持ちを汲み取ることに努めている。帰りの会でクラス全体に話をし、相手の気持ちを思いやることができるようにしている。職員間でも打ち合わせを重ねて、子どもが落ち着いて過ごせるように声掛けや環境設定について検討している。子どもがクールダウンできるスペースも用意している。小学校進学に向けて、幼保小の会議に出席して情報交換しているほか、学校見学に子ども達が出掛けている(コロナ禍で休止中)。児童要録を小学校に手渡しているほか、学童クラブにも情報を提供している。</p> | | | |

| 2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている | | 評点(〇〇〇〇) |
|---|---|----------|
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている | ○非該当 |

評価項目2の講評

登園時に保護者から情報を聞き、降園時に連絡ノートや口頭でその日の様子を伝えている

登園時に、受け入れ職員が家庭での子どもの様子を保護者に確認している。連絡ノートの内容も確認している。視診で気になることがあれば保護者に確認している。申し送り表に、保護者からの連絡事項、排便や食事の状況などを記録している。各クラスでは、1日の様子を保育室前に掲示し、保育の内容を伝えている。子ども一人ひとりの午前中の様子は連絡ノートに記載し、午後の様子は担任の職員から保護者に伝えている。延長保育の子どもについては、遅番職員に保護者への連絡事項を申し送りしている。怪我や緊急時については、直接保護者に連絡している。

子どもの発達の状況を踏まえて、保護者と連携しながら生活習慣の習得に取り組んでいる

個々の発達の状況を踏まえて、保護者とも連携を取りながら、食事や排せつなどの基本的な習慣を身に付けることができるようにしている。子どもの意欲も大切にしながら、児童票の発達の目安や個別の指導計画などに沿って計画的に取り組むようにしている。園での取り組みの状況は連絡ノートに記載し、保護者に伝えている。看護師からは、手洗い、うがい、歯磨き等、健康習慣の大切さについて子どもに知らせており、保健指導を行っている。

各年齢により午睡時間を設定しており、必要な子どもには個別対応を図っている

各年齢ごとに午睡時間を設定している。0歳児クラスでは、月齢や発達、家庭での状況など、個々に合わせた対応を図っている。5歳児クラスでは12月をめどに午睡時間をなくし、小学校生活を意識したデイリープログラムを取り入れている。文字や数字に慣れるためのワークをしたり、書道を体験してみるなど、保育士が教えながら多様な経験を積むことができるようにしている。睡眠が必要な子どもがいれば、個別に対応している。SIDS予防のためのチェックを欠かさず、午睡チェック表も作成している。

| | | |
|---|--|------------|
| 3 評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している | | 評点(〇〇〇〇〇〇) |
|---|--|------------|

| 評価 | 標準項目 | |
|---------|---|------|
| ●あり ○なし | 1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している | ○非該当 |

評価項目3の講評

子どもへの観察眼を高め、子どもの主体性を育むとともに、集団活動も取り入れている

保育の5領域を意識し、子どもへの観察眼を高めている。子どもの状況に応じて活動を考え、活動内容に偏りが生じないようにしている。週案では午前・午後ともに「どこで」、「何をするか」を具体的に記入し、幅広い活動を提供している。各クラスで、園長や副園長から子どもの主体性や人権尊重に関する研修を行っている。子どもが主体性を育み、自発的に遊ぶことができるようにしている。園庭遊びではルールのある遊びを取り入れ、年長クラスでは帰りのあいさつ、おそうじ等のお当番活動も取り入れ、集団活動に主体的に参加できるようにしている。

子どもの興味や関心を広げて、様々な表現や活動を楽しめるようにしている

公園での遊びや散歩などで自然と触れ合い、落ち葉拾いや虫探しなど、季節を感じるような遊びをしている。図鑑を用意し、虫について詳しく調べたり、自分たちでオリジナルの星座を考えるなど、子どもの興味や関心が広がるようにしている。どのクラスも制作活動に積極的に取り組んでおり、月に一作品以上を制作している。年齢や発達に応じた素材を使い、戸外活動で拾ってきたものも取り入れて、楽しく制作することができるようにしている。歌や手遊び、体操を日々の保育に取り入れ、子どもが様々な表現や活動を楽しむことができるようにしている。

発表や行事を通じて、子どもが言葉に対する感覚を養うように取り組んでいる

子どもが、言葉に対する感覚を養うことができるよう、発表の機会を多く設けている。帰りの会で発表したり、夏休み中に体験したことを発表してもらっている。グループごとのテーブルの名前も自分たちで考えている。月の集会では誕生児にインタビューをして、自分の言葉で伝えることを大切にしている。発表会で披露する劇遊びでも、セリフを子ども達なりにアレンジして考えたり、動きを考えるなど、行事の中でも子ども達が感性を磨くことができるようにしている。絵本の読み聞かせも積極的に行っており、年齢に合わせた絵本を多く用意している。

| | | |
|--|---|---------|
| 4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している | | 評点(〇〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている | ○非該当 |
| 評価項目4の講評 | | |
| <p>生活発表会では子どもがやりたい役を選ぶなど、関心を持って取り組めるようにしている</p> <p>4、5歳児は生活発表会として劇、歌、合奏等を披露している。クラス全体で同じ目標に向かって練習を重ねており、子ども達が達成感や充実感を得られるようにしている。子どもが自らやりたい役や楽器に関する希望を聞き、意欲的に取り組むことができるようにしている。2、3歳児はお楽しみ会を実施しており、2歳児は保護者と一緒に工作や体操をしている。3歳児は劇に取り組んでいる。保護者にも子どもが練習に取り組んでいる様子を伝えている。家庭でも練習する子どももいるなど、行事に子どもが関心を持ち、自ら進んで取り組めるようにしている。</p> <p>普段から子どもが取り組んでいることの延長に運動会を位置づけ、実施している</p> <p>運動会は、0歳児、1、2、3歳児、4、5歳と、3回に分けて実施している。5歳児は、よさこいソーランを踊り、その姿を見ている4歳児が、来年に自分たちが取り組むことを楽しみにしている。子どもが普段の遊びの中で取り組んでいることを発展させて運動会の競技にしており、5歳児ではフラフープやリレーをしている。リレーには4歳児の頃から取り組んでおり、運動会のために練習するのではなく、普段からの取り組みの延長として運動会で実施するようにしている。4、5歳児クラスでは、行事後に思い出を絵に描いて振り返っている。</p> <p>保護者に行事に関するお知らせをして、アンケートで意見を聞いている</p> <p>夏祭りでは、幼児のお店屋さんごっこをしている。3、4、5歳児が売り物を制作し、5歳児が売り手となっている。売り物は1つ100円で、各自500円の予算で、好きなものを買っている。行事については年間行事計画を年度初めに保護者にも配布し、日程を前もって知らせている。園だよりにも2か月分の行事予定を掲載している。保護者参加行事については、1か月前に改めてお知らせをしている。年間行事の写真データも保護者の代表に貸し出している。保護者参加の行事アンケートで意見を聞き、次年度の行事に反映させている。</p> | | |
| 5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている | | 評点(〇〇) |
| 評価 | 標準項目 | |
| ●あり ○なし | 1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている | ○非該当 |
| 評価項目5の講評 | | |
| <p>延長時間は子どもの自主性を育み、異年齢間で過ごすことができる空間を提供している</p> <p>延長保育は定員34名に対して保育士5名が担当をしている。以前は乳児と幼児に分かれて保育を行っていたが、現在は異年齢でも同じ空間で遊び、過ごせるように、延長保育専用の環境と玩具等を準備している。子どもの自主性を培い、自ら選択して活動や遊びができることを目指して、実施している。コロナ禍の状況の中で子どもの延長保育時間が長くなるのが少なくなってきたが、補食や夕食、仮眠が取れるベッドなども用意し、子どもが安心して過ごせる環境を提供している。</p> <p>乳児と幼児担当の保育士を均等に配置して、充実した保育時間の提供を心がけている</p> <p>延長保育担当の職員は、クラス担任から子ども一人ひとりの1日の様子の申し送りをし、それぞれに必要な対応をしながら、スムーズに移行できるようにしている。また、お迎えの際に子どもの1日の様子を保護者に確実に伝えられるようにしている。延長時には乳児クラスと幼児クラスの保育士を均等に配置することで、異年齢間であっても安心して過ごせる環境づくりを心がけている。これら乳児クラスと幼児クラスが関わりを持つ時間を設けていることは、更なる日々の子どもの発達や成長につながっている。</p> | | |

| | | | | |
|---|---|--|----------|------|
| 6 | 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している | | 評点(〇〇〇〇) | |
| | 評価 | 標準項目 | | |
| | ●あり ○なし | 1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している | | ○非該当 |
| | ●あり ○なし | 2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている | | ○非該当 |
| | ●あり ○なし | 3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している | | ○非該当 |
| ●あり ○なし | 4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている | ○非該当 | | |
| 評価項目6の講評 | | | | |
| <p>楽しい食事やおやつとなるように、子どもの自主性を重んじた対応をしている 食事が、なにより楽しい時間となるように、雰囲気を大切に環境づくりを心がけている。まず、職員がエプロンを着用して配膳を始めることで、自然と子ども達も食事への意識が向くようにしている。配膳の終了後も、着席は子どもの自主性を重んじている。なかなか席に着くことができない子どもであっても、都度声かけやジェスチャーを行いながら、自分から行動することができるように配慮している。その他にも、誕生日にはおやつをケーキに見立てるなど、楽しい時間を共有できるようにしている。</p> <p>アレルギーや宗教食に関して、誤配食がないようにチェック表を活用している 新たな食材を利用したり、新たな食形態や食器などに移行する際には、毎月の職員会議の中で、学年ごとの食育担当と栄養士の間で綿密な話し合いを行っている。看護師は毎年度、子どもと保護者にアレルギー食や宗教食に関して面談の中で聞き取り調査を行い、食の対応表を作成している。これらの表をもとに食事のチェック表を作成し、毎日の食事の時に活用し、誤配食等の事故防止に努めている。配膳、食事中の飛沫防止のために、配膳の準備や食事場所の配置等にも留意し、安全な食の提供に努めている。</p> <p>子ども一人ひとりが個性を持って食育活動ができるように工夫をしている 今までの食育活動の中で、植物や作物の栽培を試みてきたが、栽培場所や日照時間の関係から実施が難しい状況があり、水耕栽培に切り替えて、子どもの食育活動に努めている。園では、食を作る楽しさを味わうため、パン作りやおにぎりを握ったりと、手の感触を大切にしながら食育活動を行っている。これらのクッキングは感染症防止等の観点もあり、子どもが単独で完結できる内容としていることに加え、子ども一人ひとりが個性を生かして、興味を持って取り組めるようにしている。</p> | | | | |
| 7 | 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している | | 評点(〇〇〇) | |
| | 評価 | 標準項目 | | |
| | ●あり ○なし | 1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している | | ○非該当 |
| | ●あり ○なし | 2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている | | ○非該当 |
| | ●あり ○なし | 3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている | | ○非該当 |
| 評価項目7の講評 | | | | |
| <p>子どもが安全かつ健康に過ごすことができるように、園全体で配慮している 子どもが日常行う手洗いや歯磨きには、定期的に看護師が指導に入り、意識付けや習慣化を図っている。また、保育室内の安全管理に関しては、年度初めに各クラスの子どもの状況に合わせて、室内のヒヤリハットマップを作成している。これは、子どもの個性や特性に合わせて危険な箇所等を保育士が検討・把握するもので、子ども一人ひとりが安全に遊び、過ごせるようにしている。必要に応じて、ウレタン製のガードをつける等の安全配慮を行っている。</p> <p>日常的な医療的ケアに加え、子どもの発達状況を細かに見て連携した支援をしている 医療的なケアを必要とする子どもの場合は、医師の診断書や指示書を通して看護師が保健計画を立て、日々の必要なケアを明確にして、実施がなされている。また、看護師は毎日クラスを巡回し、視診や必要に応じて子どもへの対応を行い、職員に注意事項等を共有している。そのほかにも心理カウンセラーや言語療法士、作業療法士も巡回しており、必要な子どもの支援に関して情報共有をしている。必要であれば療育センターとの連携も行うなど、子どもの発達状況を細かに見ている。</p> <p>必要な緊急・救急対応の知識を全ての職員がつけられるように研修を行っている 在園している子どもの人数が多いこともあり、感染症に関しては細心の注意を払い、消毒や清掃を徹底している。また、看護師を通して各クラスの保育士にアナフィラキシー症状の対応や、救命処置等の研修を行うことで、有事の際の救急対応が十分にできるようにしている。今後も、これら救急対応に関して熟知した職員を増やしていくことを目指しており、定期的な園内研修を実施しながら、安全な保育の実現に努めていくこととしている。</p> | | | | |

| | | | |
|--|--|---|---------------------------|
| 8 | 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている | | 評点(〇〇〇〇) |
| | 評価 | 標準項目 | |
| | <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている | <input type="radio"/> 非該当 |
| | <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 保護者同士が交流できる機会を設けている | <input type="radio"/> 非該当 |
| | <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている | <input type="radio"/> 非該当 |
| | <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している | <input type="radio"/> 非該当 | |
| 評価項目8の講評 | | | |
| <p>保護者の就労状況に合わせ、フレキシブルな保育時間の調整を行っている</p> <p>入園前に保護者との面談を行い、就労状況を把握して、保育時間の綿密な調整を行っている。延長保育に関しても、1か月前から当日まで対応可能となっており、安心して保護者が働けるようにしている。延長保育は定員34名となっており、コロナ禍前にはキャンセル待ちなどもあったが、現在は保護者の状況に合わせ、落ち着いた対応ができています。また、土日祝日の保育も実施しており、多様な雇用形態に合わせた保育環境を実現している。</p> <p>安心した子育ての実現のため、発達状況の情報共有や、子育て相談を実施している</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、一同に集まって保護者会を開催することが難しい環境にあったが、今年度より感染状況に鑑みながらクラスごとの懇談会を開くなど、保護者間の交流の場を再開している。子育てに関する相談は、保護者の都合に合わせて個別に随時実施しており、安心して子育てができるように相談支援体制を整えている。日ごとの保護者との関わりでは、その日の状況だけでなく、新たに見られた子どもの発達状況等も話すことで、子どもの新たな成長を伝えている。</p> <p>毎日の子どもの様子を的確に伝え、安心して通園できるように努めている</p> <p>毎日の園での子どもの様子は、降園時に保護者に必ず伝えている。細かな点まで伝えることができるように、クラス担任が主となって保護者対応を行っている。園内の掲示はその都度更新を行い、園内の活動の様子や、今後の活動の計画等を、保護者に分かりやすいように示している。これら日々の情報共有を保護者で行うことで、安心して通園することにつながっており、利用者アンケート結果における満足度の高さにつながっていると思われる。</p> | | | |
| 9 | 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている | | 評点(〇〇) |
| | 評価 | 標準項目 | |
| | <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している | <input type="radio"/> 非該当 |
| <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし | 2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している | <input type="radio"/> 非該当 | |
| 評価項目9の講評 | | | |
| <p>地域の人に園の取り組みを知ってもらうために、行事を計画的に実施している</p> <p>「保育園で遊ぼう」は、地域の人に園を知ってもらうために、年間計画を立てて実施している。具体的には、七夕集会や年末のお楽しみ会など、季節に合わせて開催し、近隣の子どもや保護者に、園の雰囲気や取り組みを理解してもらう場となっている。このほかにも地域の高齢者と5歳児クラスが一緒に行う「さわやか体育祭」に参加し、交流の場を広げている。体育祭は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止を余儀なくされているが、再開が期待されている。</p> <p>地域との関わりを通して、子どもが多様な経験をすることができている</p> <p>地域のボランティア団体の協力を得て、絵本の読み聞かせ、紙芝居、お話し会を隔月で開催している。定期的で開催することで地域とのつながりを維持し、また、子どもも様々な交流を体験することができている。小学校入学を控えた年齢になると、近隣の警察署の交通安全教室を行い、安全な通学に向けて意識付けを図っている。勤労感謝の日には、郵便局と警察署に感謝の絵を送っており、子どもと地域社会の関わりが持てる取り組みが行われている。</p> <p>コロナ禍による地域交流の減少を、計画的に増やしていきたいと考えている</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響は、他園との交流や、小学校との関わりにも影響している。コロナ以前より関係性が希薄になった経緯を踏まえて、安全に実施できる交流の場を新たに設定することができればと考え、計画を立てている。事業所の行事に関しては、現在保護者の参加のみで定員になる事から、地域の人の参加が難しい状況である。「保育園であそぼう」等の行事を新たに設定し、地域交流の場を増やしていきたいと考えている。</p> | | | |

| 事業者が特に力を入れている取り組み① | | |
|--------------------|--|------------------------------|
| 評価項目 | 3-3-2 | 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている |
| タイトル① | 子育て支援のため特別事業として、休日保育等に対応し他園の子どもも預かっている | |
| 内容① | 当園においては在園児には保護者の勤務の状況を考慮して延長保育とスターライト保育に対応し、最長22時まで預かることができるよう(昨年度実績でのべ119人の利用実績)体制を整えている。また、地域の子育て家庭の支援のため、休日保育を実施して、休日に保育を必要とする他園の子どもを預かっている(昨年度実績でのべ401人が利用、自園も含む)。また、緊急一時保育や年末保育も行っている。このように当園は、公立の指定管理園としての役割を発揮する事によって、港区における子育て支援体制を担い、区民サービスを提供している。 | |

| 事業者が特に力を入れている取り組み② | | |
|--------------------|--|-----------------------------------|
| 評価項目 | 6-6-1 | 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている |
| タイトル② | マニュアル類を活用しており、業務の標準化につながっている | |
| 内容② | 業務の標準化を図るため、法人本部で作成している「施設運営の手引き」は、業種別のものがつくられ、専門性のある内容が明記され、即、実践に生かせるものとなっている。見やすく分かりやすく、この内容を熟読すれば保育園の業務全体が理解できる。保育実践や保護者対応への心構えやコンプライアンスなども記させ、社会人としての振舞のあり方の指標となる項目もある。不都合が生じた際は見直しもされている。法人側の取り組みの姿勢を職員も感じ取っており、今回の職員自己評価では、事業所業務の標準化に対する理解度が高くなっている。 | |

| 事業者が特に力を入れている取り組み③ | | |
|--------------------|---|--------------------------------------|
| 評価項目 | 6-4-3 | 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している |
| タイトル③ | 子ども達が楽しめる保育プログラムがあり、小学生への準備もしている | |
| 内容③ | コミュニケーション遊び、ネイチャー遊び(かず、造形、自然)、リズムック遊び・運動、の頭文字からなる「CNR」という観点で、保育内容の充実を図っている。絵本の読み聞かせ、発表の機会、体操、音楽など、子ども達が伸び伸びと活動に取り組み、保育者が成長をサポートしている。ワークやプリント類も充実している。5歳児クラスでは、小学校生活を意識したデイリープログラムも取り入れている。文字や数字に慣れるためのワークをしたり、書道を体験してみるなど、保育士が教えながら多様な経験を積むことができるようにしている。 | |

| No. | 特に良いと思う点 | |
|-----|--------------|--|
| 1 | タイトル | 会議を効率的に行い、すべての職員が意見発表できる環境にするため職員会議をグループを分けて運用している |
| | 内容 | 会議での意見を出やすくするための取り組みをしている。各学年の代表が毎日行う昼礼は、その日のことの共有に向けて、必要情報は午前中に回覧をしている。また、職員会議は5つのグループに経験年数や役職等で分けてそれぞれの立場に合った議論を目指し、少数の発言だけで終わることを防いでいる。会議のレジメは園長が作成して各グループの意見を集約している。安全委員会では各委員は、安全へのエピソードをまとめて発表、啓発に結び付けている。このように、会議運営の工夫によって、職員が発言しやすい雰囲気を目指している。 |
| 2 | タイトル | 日々の関わりや随時行われる面談を通して、子どもの様子を細かに情報共有し、保護者との信頼関係を築いて安心な子育てにつなげている |
| | 内容 | コロナ禍であっても、クラス担任は日々の子どもの様子を保護者と情報共有し、延長時にあっては確実な情報伝達ができるよう、責任を持って各保育士に引継ぎを行っている。また、希望者とは面談を行って、子育てに関する相談にのるなど、園と保護者との信頼関係を築くことができている。利用者アンケートの中でも日頃のコミュニケーションや個人面談の場が、子育てに関する情報を得る貴重な場になっている、とのコメントがあがっている。保護者との日々の関わりを大切にしている。 |
| 3 | タイトル | 人的・物的に整った環境の中で、子どもはカー杯活発に活動したり、アウトホームな雰囲気の中で過ごすことができている |
| | 内容 | 園は本園と分園に分かれており、本園は建物の2階から4階までを利用している。各部屋や廊下スペースは広々としている。多目的室や遊戯室、4階の園庭もとても広い。子どもは遊戯室で伸び伸びとリズムに乗って体を動かしたり、園庭ではボール遊びや、乗り物に乗ったり、力の限りに走り回ったりしている。分園はワンフロアで、人的・物的に整ったアウトホームな環境の中で、ゆったりと過ごしている。乳幼児期において、「大切な自身の育った場所として温かい記憶が残る園でありたい」という、職員の思いが叶えられる環境となっている。 |
| No. | さらなる改善が望まれる点 | |
| 1 | タイトル | コロナ禍による地域交流の場の減少を受け、新たに安全な形で計画的に増やしていくことに期待したい |
| | 内容 | コロナ禍の中で、園の行事は子どもや保護者の人数の関係により、地域の人に参加する形での実施が安全管理上難しい状況になっている。また、行事の規模の縮小を行うことで感染拡大防止に努めている。地域交流の場の減少は、園にとっても改善していきたい事項の一つとなっている。園では今後、計画的に地域交流の場を広げていきたいと考えている。さらには、現状で行っている行事のほかにも、新たな試みを取り入れていきたいと考えている。感染の状況に鑑みながら、地域との交流を増やす計画を検討し、実践していくことに期待したい。 |
| 2 | タイトル | 年間指導計画、月間指導計画を、クラスを越えて互いに認識し合い、周知し合う仕組みづくりに期待したい |
| | 内容 | 全体的な計画の基、年間指導計画や月間指導計画、週間指導計画が作成されている。計画立案に際しては、園長、副園長の指導があるほか、法人本部も分かりやすい計画書作成のマニュアルを作成している。職員は、各クラスで相談し、計画を立案しているが、月毎のつながりや、年齢別のつながりの検証において改善の余地がある。0歳児クラスから5歳児クラスまで、一貫した計画の流れと保育実践、振り返りが求められる中で、各クラスの年間指導計画や月間指導計画をお互いのクラスで認識し合い、周知し合う仕組みを検討していくことに期待したい。 |
| 3 | タイトル | 中期計画の策定によって、その目標に向けた取り組みを行っているが、その効果を生み出すため職員へのさらなる周知に期待する |
| | 内容 | 中期計画は、港区による地域保健福祉計画と法人の経営戦略の考え方を園の現状に当てはめて策定している。計画は法人理念・基本方針を前提として、2024年度をゴールとした計画となっている。目指している目標の一つに、保育マニュアルの改訂は理念・方針を実現するための重要課題として毎年、振り返りを行い、再改定作業を行うこととしている。ただし、本計画が中期計画の一環であることを職員に浸透させるためには、計画書としてのタイトルや発行日を記入した上で、職員会議で周知することを期待する。 |